# ○市民協働ワークショップ　実施報告書

日　時：令和8年9月6日（日） 14:00 － 16:00

会　場：成田市役所6階　大会議室

参加者：日本人住民16名、外国人住民18名（国別：インドネシア 2名、スリランカ 4名、ネパール 9名、フィリピン 1名、ブラジル 1名、メキシコ 1名）、合計34名

内　容：【多文化共生をテーマとした市民協働の促進】

協働のまちづくりに向けて、まちづくりへの市民参加の機会を確保し、市民協働の体制づくりを推進するに当たり、外国人住民の増加が進む本市の状況を踏まえ、日本人住民と外国人住民が互いの生活課題や期待すること、地域での経験を共有することで、市民同士の理解と支え合いを深めることを目的に、本ワークショップを実施いたしましたので、その結果を報告いたします。

参加者は５つのグループに分かれ、グループワークでは活発な意見交換が行われました。また、実施後のアンケート調査では、参加者の多くがワークショップの開催内容に満足しており、またワークショップがあったら参加したい、今後の生活に役に立ちそうといった好印象かつ前向きな意見が多く寄せられました。

なお、本報告書は、今後本市が協働のまちづくりに向けた取組を検討する際の貴重な資料とさせていただきます。本ワークショップにご参加くださった皆様や実施をご支援くださった皆様、誠にありがとうございました。

## ○ワークショップ当日の流れ

### 14:00 – 14:25 開会・講演

【開会】

成田市市民協働課から、市民協働の概要及び成田市の外国人の現状を説明

【講演】

講師:行政書士 村岡事務所 村岡 大輔 氏

内容:外国人コミュニティの理解 ー地域でつながるためにー

■外国人が日本で暮らすために 在留資格とは

■日本に来てからの人生 在留資格とキャリアプラン

■外国人コミュニティはどうやってできるのか

■「外国人コミュニティ」から「自分のコミュニティ」へ

### 14:25 – 15:50 意見交換・グループワーク

【ワーク１ 私たちのまちについて知る】

■日本の生活の中で感じた良いところ、悪いところを意見交換

■よく出た意見、見え方が分かれた意見などに分ける

【ワーク２ 立場が変わると、まちはどう見える？】

■ワーク１で出た意見から、発表するテーマを決める

■意見で出た場面について、立場を変えて考えてみる

【ワーク３　私たちが大切にしたい“多文化共生”のかたち】

■ワーク２で出てきた話題から、大事だと思うことを一つ選ぶ

■選んだ内容とその理由をまとめ、グループ発表の役割を決める

15:50 – 16:00 発表・まとめ

【発表】

各グループで、5ページ以降のとおり発表

【まとめ】

発表後、講師から講評を実施するとともに、成田市市民協働課多文化共生担当から総評を実施

## ○市民協働ワークショップ　会場の様子



講演を熱心に聞く参加者の皆様



積極的に自己紹介が行われました



自分の意見を書いた付箋を模造紙へ



互いの意見を伝え、理解を深めます




最後に各グループの意見を発表



皆様関心を持って聞かれていました

【Aグループ意見発表】 ※なるべく原文を生かして掲載しています。（一部修正あり、他のグループも同様）

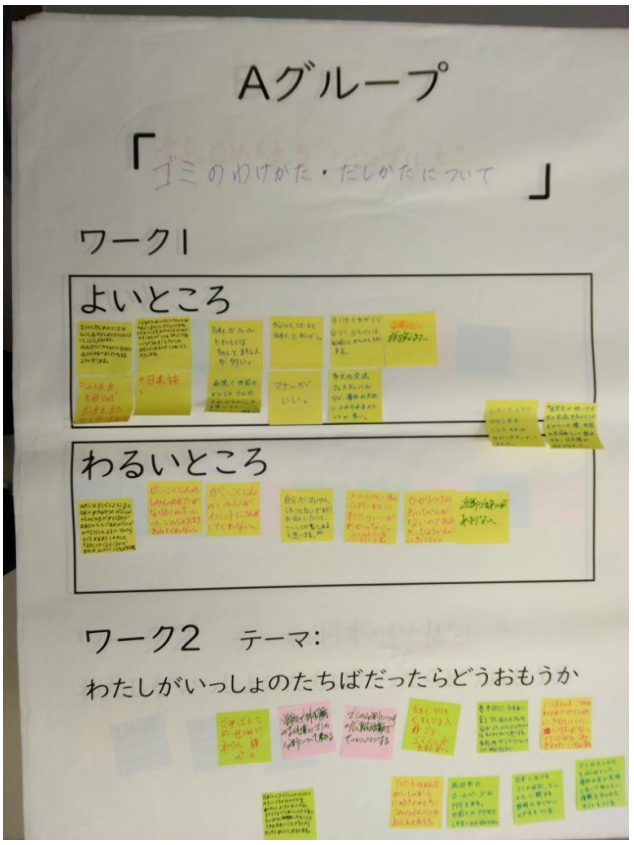
●ワーク１

良いところ

・子どもが通っている保育園で、日本と外国の子同士が楽しく遊べている
・病院の対応などが平等にされている
・多文化交流フェスティバルなど、海外の文化に触れるイベントが多い

悪いところ

・外国人市民がイベントに参加しない、市ホームページの情報を見ない
・スマートフォンのバッテリーをどこに捨てたらいいのかわからない
・近所付き合いがあまりない




●ワーク２　テーマ:ゴミ

・日本に来る外国人の国ではゴミの分別ルールがあまりないと思う
・外国人の家族が来日したときは分別がわからない
・ゴミの分け方についてくわしく教えてくれる機会、情報がほしい

●ワーク３　一番大事だと感じたこと:ゴミの分け方・出し方について

ゴミは皆が出すもの。トラブルにならないようにルールを覚える必要がある

【B グループ意見発表】

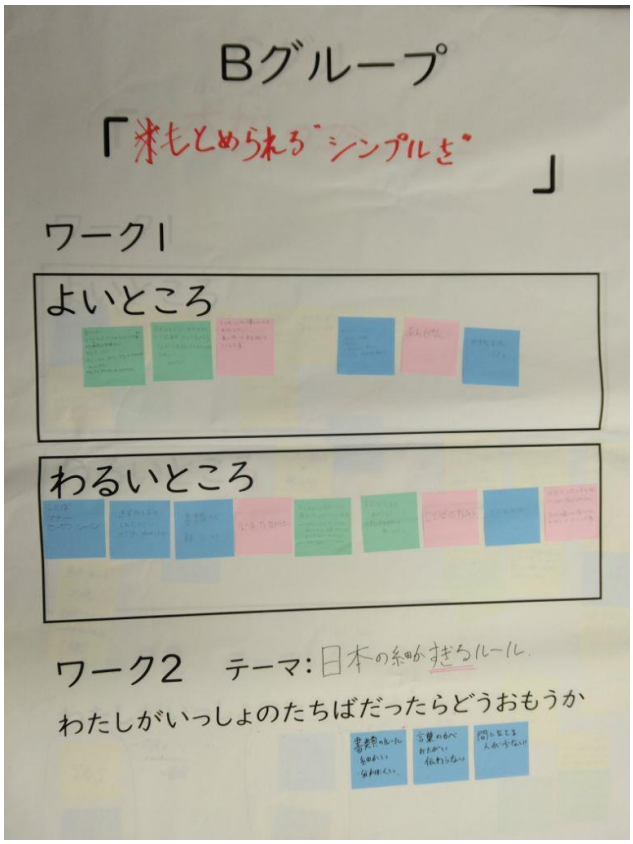
●ワーク１

良いところ

・スーパーやコンビニがあるのが便利
・外国人にリスペクトを持ってくれている
・安全に過ごせている

悪いところ

・マナーや生活のルールがわかりづらい
・書類の内容が 難 しい
・言語や文化の違いがわからず戸惑ってしまう



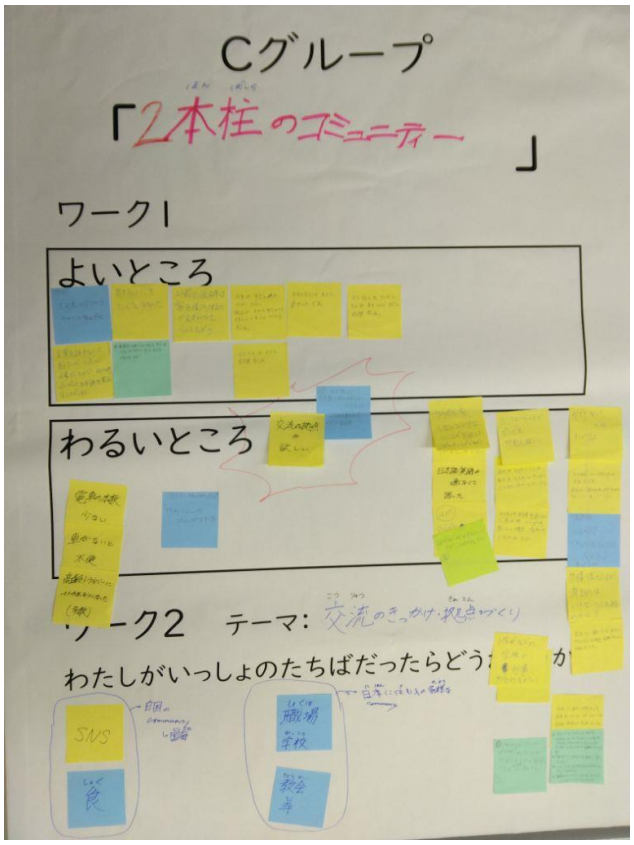

●ワーク２　テーマ:日本の細かすぎるルール

・書類のルールが細かくわかりにくい
・言葉の壁がありお互いに伝わらない
・日本人と外国人の 間 に立てる人が少ない

●ワーク３　一番大事だと感じたこと:求められる“シンプルさ”

話 やルールの内容がわからない、伝わらないと、共生することは 難 しい

【C グループ意見発表】




●ワーク 1

良いところ

・家を借りやすい

・いろいろなイベントをやってくれている

・科学技術が高い

悪いところ

・車が無いと不便

・通訳をしないといけない仕事が多い

・食事の味付け、調味料の量など

●ワーク 2　テーマ:交流のきっかけ、拠点づくり

・自国、他国のコミュニティ(SNS、食)

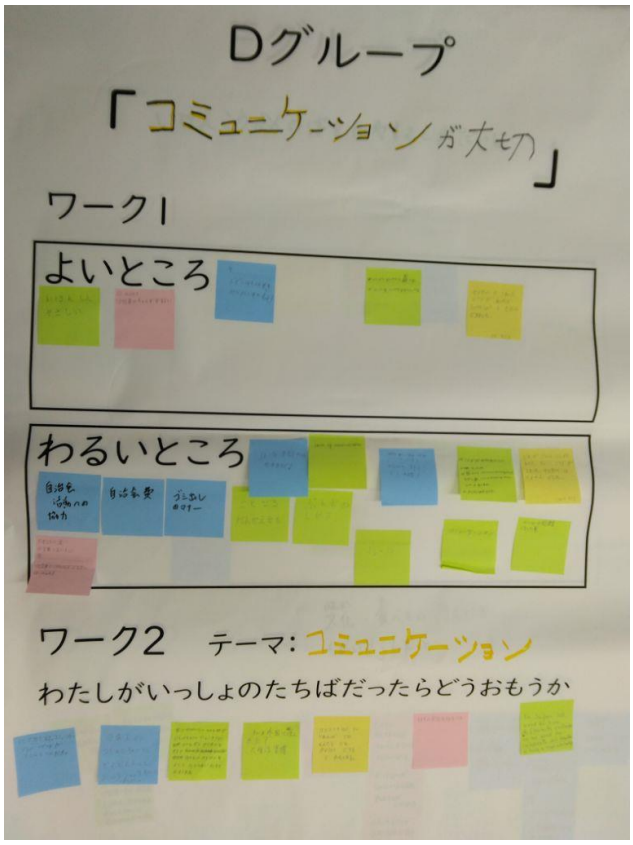
・日本に住む人の多様なコミュニティ(職場、学校、教会、寺)

●ワーク 3　一番大事だと感じたこと:2本柱のコミュニティ

日本人と外国人が交流を持つに当たり、ワーク 2 の 2本の

コミュニティの活用が大切

【D グループ意見発表】




●ワーク 1

良いところ

・自動販売機で買い物ができる

・ルールをしっかり守っている

・生活で困ったことを市役所が相談に乗ってくれた

悪いところ

・ゴミ出しのマナー違反

・考え方や文化の違い

・ビザ更新中に銀行口座が止まり、生活が大変だった

●ワーク 2　テーマ:コミュニケーション

・自分が外国に住んだら、生活習慣が気にかかる

・相手の文化を知るべき

・日本のコミュニティにどんどん入ってきてほしい

●ワーク 3　一番大事だと感じたこと:コミュニケーションが大切

コミュニケーションをよく取ることができれば、問題を解決できると考える

【E グループ意見発表】

●ワーク 1

良いところ

・食の安全性

・平和な国

・いろいろな違いについて話し合い、自分の視野が広がった

悪いところ

・困っている時たずねてもらえない

・同じ仏教でも日本と外国で違いがある

・住まいの探し方がわからない

●ワーク 2　テーマ:文化、食べ物、住むところの違いや困ったこと

・始めは食べ物が口に合わなかったが慣れた

・家に住むときの保証人を、代わりにやってくれる会社があることを知った

・会社や学校、市役所のサポートがあると助かる

●ワーク 3　一番大事だと感じたこと:意見交換の場を増やすことが大事

困ったことを相談できる場所があることで、解決方法をすぐ見つけられる

